

第三卷

天 界

大正十二年二月
三 月 號

號七十二第



內 容

繪一グリニチ天文臺天體寫真赤道儀
金星の掩蔽

恒星のスペクトルの分類法

東京天文臺技手

古 川 龍

壺 城

宇宙の真相 (三)

京都大學

小 野 尙

次 交

星の名稱と傳説 (一)

京都帝國大學圖書館長

新 村

出 夫

名前のいろいろ (三)

天 文 臺

人 大

小望遠鏡について (一)

A・A・V・S・Oメンバー

中 村

要 八

海外日誌 (二)

在米國ヤークニス天文臺

山 本 一

清 六

星座カード、星座ランプ
星報、觀測部一九二二年度報告、批評

手紙、通信、報告

此頃小望遠鏡で面白い星

太陽觀測報告、三月の天象、正誤

附錄 天界第二卷總目錄及び索引

五、六

天文同好會規則(大正十年十一月
十二日改正)

第一條 此ノ會ヲ天文同好會ト云フ

第二條 此ノ會ハ天文學ノ了解ヲ進メ兼ネテ同好者相互ノ親睦ヲ増スノガ目的デアル

第三條 事務所ヲ京都市吉田町京都大學天文臺内ニ置ク、又會員密集ノ地ニハ支部ヲ置ク事ガアル

第三條 此ノ會ハ左ノ目的ヲ達スル爲メ次ノ事業ヲ行フ
一、講演(例會毎月一回、大會年一回、其他臨時會)

二、講習(各地ヲ臨時ニ開ク)
三、雜誌圖書ノ出版(雜誌ハ月一回會員ニハ無代配布、圖書ハ隨時)

四、實地觀測(第一部啓發的、甲觀望、乙見學、第二部研究的、甲流星、乙變光星、丙彗星)

第五條 此ノ會ノ目的ニ賛同スル者ハ誰デモ會員ニナレル但シ會費トシテ毎月金貳拾錢ノ割デ、成ルベク半年分又ハ其ノ倍數ツツラ前金ヲ納入スルコト

申込ノ際ハ住所職業生年ヲ記入セラレタメ

第六條 特ニ一時五拾圓以上ヲ寄附スル者ヲ名譽會員トスル

第七條 此ノ會ノ幹部ハ次ノ通り
幹事 二名 會計 一名

此ノ幹部ハ總會ヲ選舉セラレル者ヲ任期ハ一ヶ年
第八條 幹部ハ會員ノ中カラ次ノ係リヲ指名
講演係一名、編輯係三名、觀測係一名、寫真係一名

Contents of THE HEAVENS No.27.....Editor T. Ebi.

Astrographic Equatorial At Greenwich and Occultation of Venus by The Moon(Frontispieces) R. Furukawa; On the Method of Classification of Spectra of the Fixed Stars.....S. Ono; Thoughts on the Univers (3).....I. Shinmura; Star Names and their Traditions (1).....J. Ueda; On Various Names (3).....K. Nakamura; About A Little Telescope (1).....I. Yamamoto; y Dairy Abroad (2)
Constellation Cards, A Constellation Lamp.....Reports, Report of Observing Department, 1922.....Stars through a little Telescope.....Monthly Report of Sun-Spot Observations for January, 1923.....Astronomical Phenomena for March, Erratum.
Appendix: General Contents and Index of THE HEAVENS Vol. II.

Published by the Society of Astronomical Friends,
Kyoto University Observatory.

ELEMENTS OF ASTRONOMY

本書は初學者のための天文書として英米の社會に最も廣く讀まれてゐます。平易なる英文を以つて天文學の全般にわたり簡明なる記載と親切なる説明とを試みてゐます。

山本助教は同志社女學校で之れを教科書に用ゐてゐられます。内容の配列は

- 一、地球と天體との關係九、曆
- 二、地球の公轉
- 三、時間について
- 四、天體の觀察と測定
- 五、重力
- 六、地球
- 七、太陽
- 八、月と日月星
- 九、太陽曆の概観
- 一〇、内遊星
- 一一、外遊星
- 一二、彗星と流星
- 一三、星座
- 一四、恒星と星雲
- 一五、天文學小史

山本助教曰く、「ニウカム氏のエレメンツは天文學書として近代の傑作である。四六版、僅か二百餘頁の小冊子に、よくも之れだけ趣味と實益とを兼ねた(しかも數學ぬきの)好い書物が出來たものだ、今日の天文を愛する人は必ず此れを讀んで其最初の智識を得なければならぬ」云々

京都大學天文臺内(振替大阪五六七六五)
 取次……天 文 同 好 會
 發賣……丸善株式會社京都支店

吉田源治郎著

定價參圓五拾錢
 送料拾八錢

肉眼に 見える 星の研究

ピロンの宗教は星に依つて生れ、ギリシヤの藝術も星に依つて養はれたのでした。この人間に惹かれた最も美しい習慣である星を見ること、近世の望遠鏡の出現に依つて、遂に専門化したことは、民衆の美的生活に於て餘りに悲しい出來事です。けれども過去の天文學は、肉眼に依つての觀測史です。水々しい一つの肉眼が、如何に驚く可き數々の發見と、美しい魂の住家を造つたかを考へた時、再び肉眼の偉力を信ぜずにはゐられない。本書は再び天文趣味を民衆の生活に取戻すための努力で何んな素人が見ても直ぐわかる様一つ／＼肉眼に見える星座の圖を挿入し古人の心に湧いた傳説を記載してあります。

挿圖七十四圖

水野千里著

定價五拾錢
 送料四錢

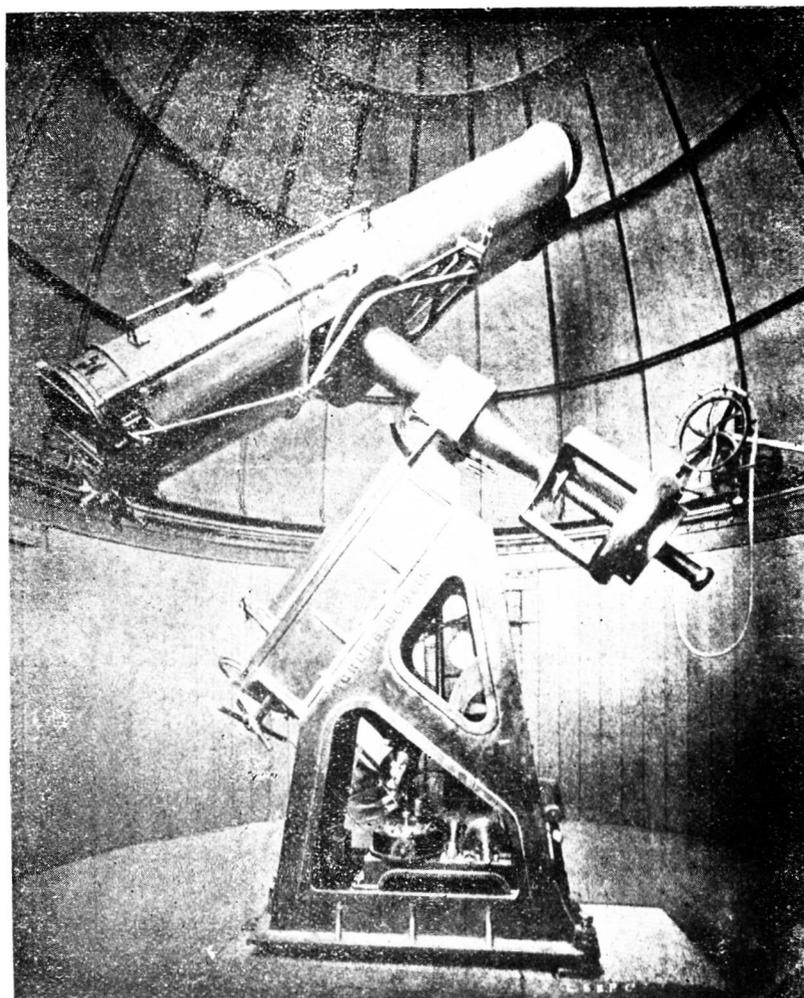
國定教科書星の話解説

本年四月改訂の小學讀本には「星の話」が載つてゐますが、その話を兒童に徹底的に飲み込ませる爲には天文學の一般的素養と特に大熊座、小熊座に就ての相當の知識がなくてはなりません。そこで、教師及び一般家庭への參考書として生れたのが本書であります。

振替五五番
 東三番

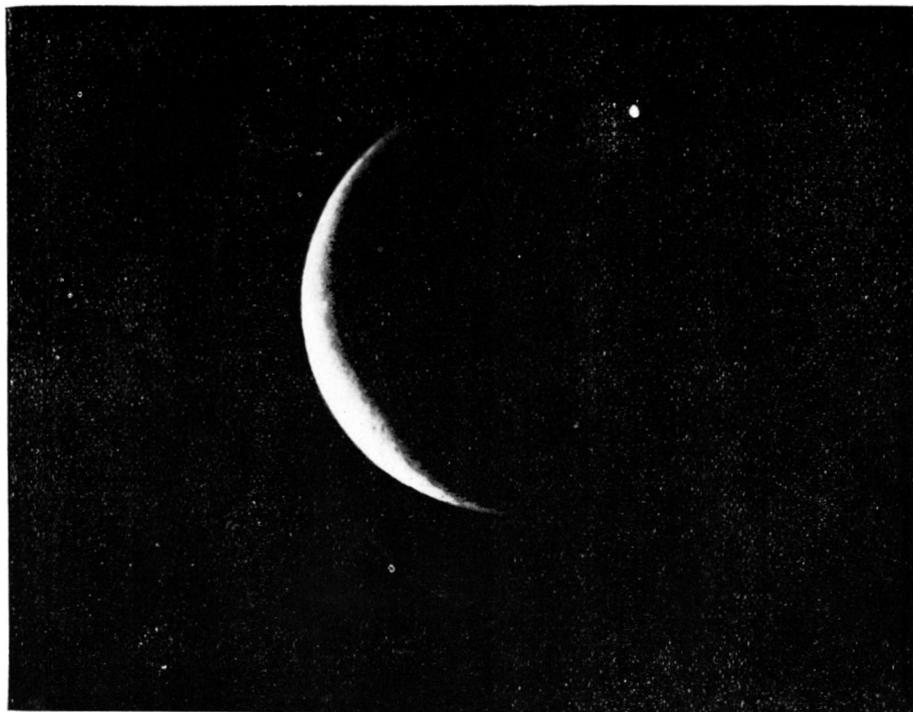
警 醒 社 書 店

東京橋本
 東京張二



ダリニチ天文臺天體寫眞赤道儀

金星の掩蔽



本年一月十三日午前六時二十分在来山本一清氏がブルースの十吋望遠鏡で撮影せられしもの

編輯室より

○編輯者病後のため本號の成立を心配もしたが、攝理し各種類の題下に原稿を集めて下さった。只前號に豫告した三澤氏の黃道光測報が、み切迄に何かの御障りて到着しなかつた事を遺憾とする。

○久し振りに前幹事古川龍城氏より寄稿ありしを皆様と共に喜ぶ者である。今後屢々我等が御欲導あらん事を祈る。

○新村先生の「星の名稱と傳説」は豫告さば相違したげれども、引き続き此方面の御研究を發表下さる事は感謝すべき事である。吉田源次郎氏の著「肉眼に見ゆる星の研究」の不足東洋に於ける傳説を補ひ下さる事と期待する次第である。

○天文臺人の「名前のいろく」は毎月興味津々教訓に富んだ論文である。愈々星座に關する御意見の發表とばなつた。早く統一せられた和名の決定を見たい事は我等初學者の願つてやまない所、天文の語彙の作成も其の後でなければ全きを得ない譯である。

○中村要君の「小望遠鏡について」は同君の實驗に生れた實き參考資料である。引き続き發表せらるゝから、譯者を大いに益する事と思ふ。

○本號に附録として遅れ乍ら第二卷の總目錄と略索引とを附した御利用あらん事を。

○編輯につき、御不満の點、御希望の方面又好き方策等御有りの方は編輯者へ直接御教示下さるべく切望致します。山本一清氏の編輯

せられし時から、荒木俊馬氏及現在と大體變化がある様ですから皆様の御意見をも伺ひ度いで存じます。

事務室より

○本年四月の好時期を選んで臨時總會を開催し、二名の幹事、一名の會計を選擧し、同時に新城博士其他名士の御講演を願ひ度い計畫中である。委細は四月號に發表致します。

○尙前號にも豫告しました如く集金郵便を發送いたしますから、左の如く御實行あらん事を希望致します。

會報

○來る三月二十日以後に集金郵便を發送致す積りに候間、會費未濟の方は其れ迄に本號に同封せし振替貯金拂込用紙を利用せられ御拂込あれば手數も費用もを除き雙方の利益に有之候。

集金郵便は期間と回数とに制限有るに由り、御外出又は御授業、御登校の際にても無効ならざる様に御家族又は小使等へ前以つて御注意置相成度願上候。

天文同好會 會計係

天文同好會

- 本部 京都帝國大學
 同志社支部 京都市同志社大學
 京都小學教員支部 京都市富有小學校 内山新
 京都市錦小路油小路東 青地篤代藏
 西陣支部 京都市七本松五辻下ル 河村篤三郎
 三高支部 京都市第三高等學校 西堀篤三郎
 大阪支部 京都市第三高等學校
 神戸支部 神戸市榮町五ノ六八 渡邊 定助
 明石支部 兵庫縣明石市女子師範學校
 甲南支部 兵庫縣尼崎市高等女學校 木村幸造
 岡山支部 岡山市門田二十一 水野 千里
 美作支部 岡山縣苫田郡津山町大字 山本孝二眞
 名古屋支部 名古屋市中區東區東野町五ノ濱野眞
 上田支部 長野縣上田高等女學校 中澤登
 長野支部 長野縣下高井郡瑞穂小學校 黑岩 魁一郎
 高水支部 長野縣下高井郡瑞穂小學校
 松本支部 長野縣松本市藥學部 宮川 周治
 諏訪支部 長野縣上諏訪中學校 上澤 清人
 廣島支部 廣島市研屋町五一 熊野 德一
 九州支部 福岡縣大牟田市龜甲町 古賀 和吉
 山口支部 山口町山口高等學校化學部 野垣 寛之
- 大正十二年二月廿四日印刷(定價二十五錢)
 大正十二年二月廿五日發行(郵價二十五錢)
- 天界(第七號) 編輯兼發行者 天文臺內
 右代表者 振替貯金大阪五七六五番會
 京都帝國大學天文臺內
 印刷所 京都市下京區西洞院七條南入
 印所 内外出版株式會社印刷部
- 丸善株式會社
 東京京都大阪福岡仙臺
 警 醒 社

文化の家庭常備薬



致します
薬店にある様に
全国到る處の

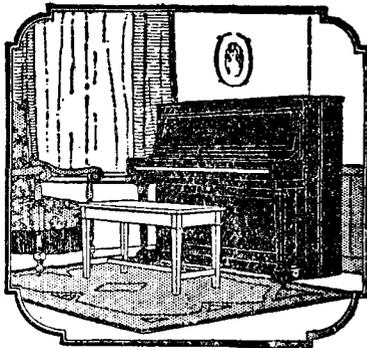
定 價 は

- 半オンス小罐入 金四拾錢
- 一オンス(チューブ)金七拾五錢
- 一オンスス 金七拾五錢
- 三オンスス 金壹拾五拾錢

特効 (直ちに痒さ、痛さを去る。)
 しらくも、日焼け、齒痛、床ずれ、靴ずれ、蚊、蚤、毒蟲
 鼻カタル、はたけ、いんきん、たむし、にきび、あせも
 ひび、あかさね、しもやけ、痔、切り傷、火傷、頭痛、

メンソレータム

純米國製!
評判の!



The MIESSNER

ミースナーピアノ

臺づゝ賣れて行きます
 大正十一年春より毎週一
 風姿新式
 堅牢、音調美麗
 ▼米國樂器製造界の革命兒!
 ▼文化の家庭藝術のために

Cak ¥775.00
 Mahogany ¥800.00

米國メンソレータム會社 米國ミースナーピアノ會社

日本朝鮮滿洲總代理店

近江セールズ株式會社

電話 二五七番 近江八幡町 振替口座大阪五四五三四